

# XF15対応の羽柄／合板CAD開発

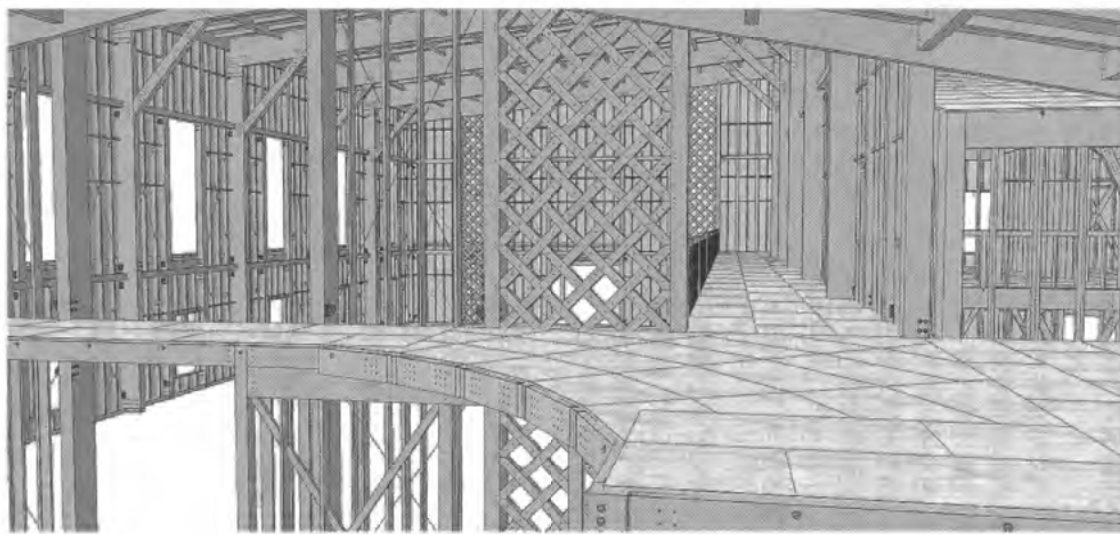
## 非住宅の生産性が大幅に向上

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は、非住宅大型木造建築向けのプレカットCAD「XF15」に対応する羽柄材／合板CADを開発した。構造材と一体的に入力でき、斜めや円弧、多角形など複雑なグリッドの物件でも容易に機械加工できる。正確な木拾い、板取り積算も可能で、使用量の多い非住宅の羽柄材、合板のプレカットが大幅に合理化できる。非住宅大型木造建築の機械プレカットが大きく前進し、生産性向上による一段の普及拡大が期待される。

## 構造材と一体入力

羽柄、合板のみの加工対応も容易に

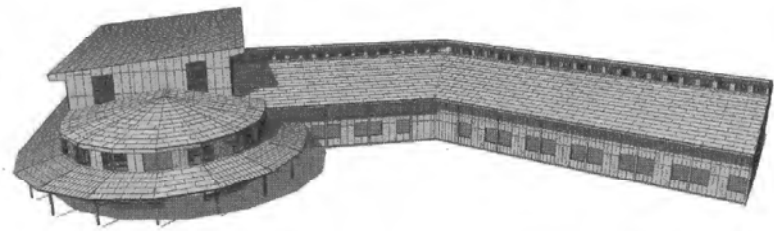
これまで大型木造は躯体精度が低く、羽柄材のプレカット化が、機械加工で躯体精度が向上すれば、いずれ住宅の機械プレカットと同様、羽柄材や合板のプレカット化が進むと考え、約3年前から対応ソフトの開発を進めてきた。



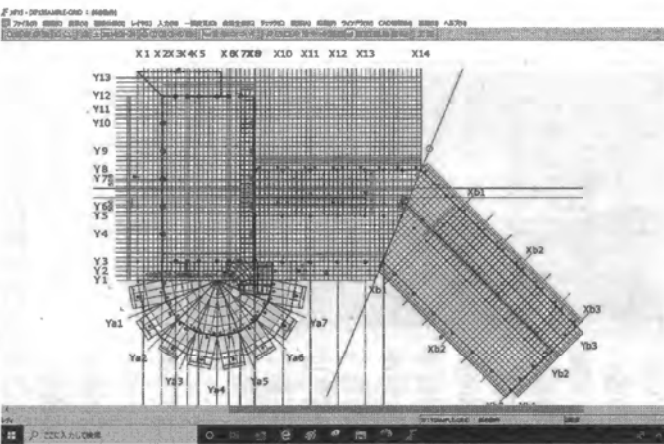
羽柄・合板CAD(内観パース)

住宅向けのプレカットCAD「XF15」でも非住宅の羽柄材や合板は加工できる。だが、XF15は非住宅への対応を想定しておらず、材本数が多いと分割して入力しなければならぬ。ほか、5桁などの大きなグリッドや斜め、円弧、多角形などの複雑なグリッドには対応できなかった。このため、入力には特別なノウハウが必要になり、新規参入の壁になっていた。

今回開発したXF



羽柄・合板CAD(外観パース)



CAD画面

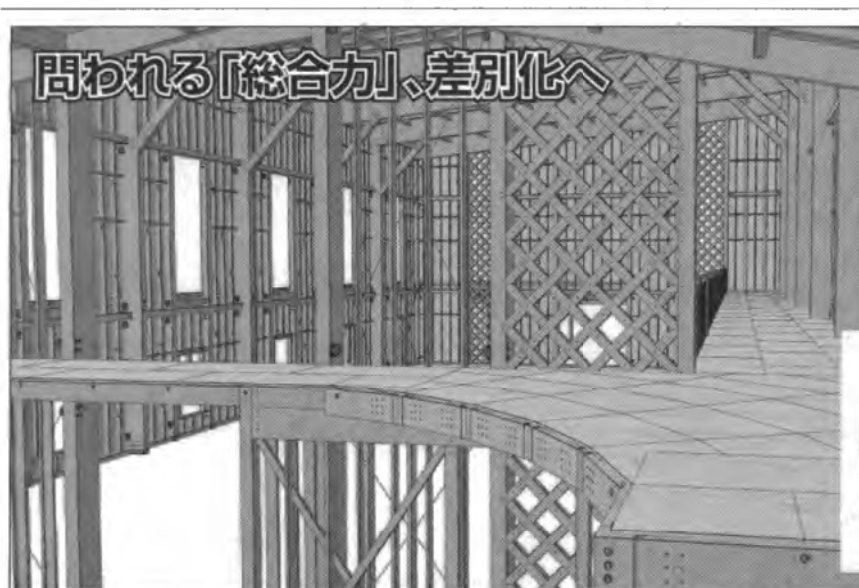
## 開発から10年機能向上

複雑な加工、正確な積算が容易に

同社は2011年にXF15を開発して以来、大断面集成材の加工から製作金物の取り付けまで、昨年開発した斜め2面カット

調整、C LT、ログハウス、トラス、斜め2面カットに架かる材料の複雑な収まり、断面図加工形状(斜め2面カット)が

自動で決まり、製作金物の形状やドリフトピンの位置も自動で計算、加工される。従来は1面を機械加工、1面を手加工で対応するか、特殊加工機用のCADで部材ごとに直接入力して加工していた。だが、部材ごとに計算して墨付け、入力するのは難しく、高度な専門能力が要求されるほか、手加工では手間と時間が掛かり、ミスにつながる恐れもあった。いまでは、通常の部材と同じように入力、加工できるため、作業を大幅に効率化でき、ミスの発生も抑制できる。

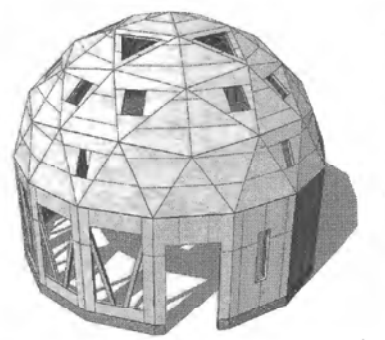


問われる「総合力」、差別化へ



## ネットイーグル

造材と同様、伏図だけでなく、任意の断面図からも入力(断面図入力機能)できるため、複雑な収まりも部材の干渉に配慮しながら入力できる。



羽柄・合板CAD(外観パース)

業界初! 非住宅プレカットCAD OPEN-NET XF15

XF15直結システム  
**端柄・合板CAD**

ウッドショック!カギは木拾い&板取積算!  
木材利用促進法の改正で民間も法対象へ!  
非住宅プレカットはここまで進化しました!  
3年かけて新開発、そしてついに完成!  
非住宅プレカット向け 端柄・合板CAD!

**NET EAGLE**  
ネットイーグル株式会社  
<https://www.neteagle.co.jp>

本社  
〒819-0001  
福岡市西区小戸  
3-54-50  
050-3536-5961

中部テクノセンター  
〒483-8213  
愛知県江南市古知野町  
朝日165 ナガタニビル3階  
050-3538-0221

東京CADセンター  
〒108-0023  
東京都港区芝浦2-14-4  
オアーゼネクスサス芝浦5階  
050-3533-2894